

令和5年度 第1回 我孫子市水道事業運営審議会

会 議 報 告

日時：令和5年11月1日(水) 午後2時～3時30分

場所：水道局庁舎3階 経営会議室

出席委員：（50音順、敬称略）

遠藤 洋子	岡田 真弓
佐藤 一明	庄司 武史
鈴木 登	園 比佐志
高橋 学	鶴岡 亜弥子
林 健一	藤本 行宣

※委員10名中、10名が出席のため、審議会は成立した。

出席説明員：水道局長（古谷 靖）	工務課長（川村 憲司）
経営課長（土屋 弥世）	工務課主幹（山下 大吾）
経営課長補佐（洞毛 秀男）	工務課長補佐（鈴木 良拡）

事務局職員：経営課長補佐（鈴木 隆史） 経営課主任（柳沼 翔太）
経営課主事（湯下 詩織）

会議公開の状況：公開

傍聴者：無し

【議事内容】

1 開 会

- (1) 我孫子市水道事業管理者挨拶
- (2) 審議会委員紹介
- (3) 職員紹介

2 議 題

(1) 会長・副会長の選出

審議会委員改選後、初回の審議会であるため、水道事業運営審議会条例第4条第1項に基づき、委員の互選により会長及び副会長の選出を行った。その結果、会長には林 健一委員が選出された。また、副会長には庄司 武史委員が選出された。

(2) 諮問事項

林会長の議事進行により諮問事項2件について審議を行った。

【諮問事項1】 「令和6年度我孫子市水道事業（案）」について

【諮問事項の内容説明】

- ・資料「令和6年度我孫子市水道事業会計予算編成方針」に基づき、土屋経営課長が説明。
- ・令和6年度も「我孫子市水道事業ビジョン」、「我孫子市水道事業基本計画（以下、「基本計画」という。）」に定めた3つの基本目標、6つの基本方針に沿って事業を推進する。

【審議結果】

委員からの質疑応答の後、採決を行った結果、異議なく承認された。

【質疑応答の内容】 （凡例…◇意見・質問 ◆回答）

◇藤本委員

コロナ禍では在宅勤務の影響で、水道の使用量が増えたことは理解したが、今現在はコロナ前とほぼ同じ状況に戻ったということか。また水道を利用する人口の推移はどうなっているか。

◆洞毛経営課長補佐

今現在はコロナ以前の使用水量に戻ってきている。また、市の人口は減少しているが、世帯数については増えている。

◇鈴木委員

予算編成方針の中で記載があった、営業外収益とは何か。

◆洞毛経営課長補佐

メーターを設置するときに、納めていただく納付金が主となる。

◇鈴木委員

納付金は口径別で金額が変わるか。また、アパートなどで水栓が5個以下の建物には、口径はいくつのメーターを使用するのか。

◆洞毛経営課長補佐

アパートで同時使用水栓3つ以上のものについては、20mmのメーターをつけている。

◇園委員

北千葉広域水道企業団からの受水と、自己水源（深井戸）の割合はおおよそ8対2ということだが、この割合で今後も継続していくのか。

◆川村工務課長

令和7年度から思川開発建設所の南摩ダムという水源が1つ増えるため、受水を少しずつ増やしていく考えでいる。

◇園委員

古くなった配水管を順次交換しているとあるが、現在の達成率は何%か。また、どれくらいの地震の震度を想定しているか。

◆山下工務課主幹

管路延長を分母、耐震化済み延長を分子に置いた耐震化率という指標があるが、現在45.7%となっている。全国平均よりはやや上だが、都道府県別にみると千葉県は全国で3位の60.3%で、そこからはかけ離れているのが現状。

耐震性能は厚生労働省が示している「震度6強」を想定している。

◇園委員

地震などの災害時に火災が起き、さらに停電が発生した場合、消火栓が機能しない事態が考えられるが、停電に対する対策はとっているか。

◆川村工務課長

久寺家浄水場・湖北台浄水場・妻子原浄水場の3つの浄水場とも、非常用発電機があり、仮に停電をした場合であっても非常用発電機で浄水場の機能はほぼ賄えるようになっている。したがって、停電時にも消火栓の利用は可能である。

◇藤本委員

我孫子市内3カ所の浄水場の防犯体制はどうなっているのか。

◆鈴木工務課長補佐

久寺家浄水場と湖北台浄水場の2ヶ所に関しては無人の施設で、機械警備設備を入れている。妻子原浄水場は日勤の方が常駐しており、夜間帯は機械警備設備を入れるセキュリティ対策を行っている。

◇鈴木委員

巡回警備は行っているか。

◆鈴木工務課長補佐

3カ所の浄水場で1日1回は巡回し、機械の異常等がないことを確認している。

◇藤本委員

将来につなげる新施策の考察の中で、IoT技術を活用したスマートメーターについて、導入に向けた調査・研究を進めるとあるが、これは今後ぜひ期待したい。

諮問事項 2 我孫子市水道事業基本計画（案）及び経営戦略（案）について
・資料「基本計画及び経営戦略について」に基づき、土屋経営課長が説明。

【審議結果】

諮問事項 2 については、現在、事務局において基本計画及び経営戦略の見直しを行っていることから、本審議会では概要説明のみ行った。第 2 回我孫子市水道事業運営審議会（令和 6 年 2 月予定）において原案を提出することとし、審議継続とした。

【質疑応答の内容】 （凡例…◇意見・質問 ◆回答）

◇岡田委員

これまでの現状分析を踏まえて、今後の課題を捉えたうえで、見直し案を作るということだが、令和 6 年度は見直し後の初年度となる。予算編成との整合を図ったうえで、並行し進めていくのか。

◆洞毛経営課長補佐

令和 6 年度予算については並行して進めていく。まず令和 6 年度に必要な事業を先に抽出し、併せて令和 7～10 年度についても検討していくという流れになる。先ほどの諮問事項 1 「令和 6 年度我孫子市水道事業について」もお諮りした内容を踏まえ、今後調整し進めていく。

◇藤本委員

我孫子市の有収水量を上げるためには何が一番有効と考えているか。

◆川村工務課長

有収水量とは、浄水場から出た水量とメーター水量との差になるが、その差というのは漏水が挙げられる。そのため、有収水量を上げるためには漏水量を減らすことが一番効果的だと考えている。

◇藤本委員

我孫水について、原価はいくらか。製造業者はなぜ現在の事業者になったのか。

◆洞毛経営課長補佐

委託金額を製造個数で割った額がおおよそ120円で、水は湖北台浄水場から採取したもの。他の飲料メーカーでは、採水した水をボトリングすることは難しいためこの業者に委託している。

◆古谷水道局長

以前他の飲料メーカーにも相談したが、ボトリング前後に製造ラインを洗浄する必要があるため、コストアップになると聞き、他の飲料メーカーへの委託を断念した経緯がある。委託事業者が取り扱っているのは水のみのため、製造ラインの洗浄が不要であり、費用を削減できている。現在ボトリング水については、東京都や流山市、野田市なども同じ事業者委託していると聞いていて、現状で委託できるのはこの事業者しかない。

◇高橋委員

健全経営を続けていくための費用削減の方法について、何か検討していることはあるか。

◆山下工務課主幹

更新工事の際に管の口径を小さくすることで、将来、経済合理的な維持管理が可能となる。

また、漏水の調査で事前にその地区の事故履歴をピックアップするなど、新技術等が出ているため十分研究し、漏水量を抑えていきたい。

工事においては再生材の利用や合成樹脂のポリエチレン管などのフレキシブルな構造のものに変えていくなど、材料についても十分比較していく。7～8年ぐらい前は、铸铁管という鉄管を使っていたが、材料費が高いため見直しを継続的に行い、なるべく費用を抑えることに取り組んでいきたい。

◇遠藤委員

我孫水は販売しないのか。

◆洞毛経営課課長補佐

現状、販売はしていない。水道災害の際にお配りできるよう備蓄をしていることや、イベント等で皆さんに水の美味しさを知って頂くために使っている。

◆古谷水道局長

私もよく我孫水を販売した方がいいのではないかとの声を頂くが、市販されているペットボトルは1本50円程度で販売されている中で、120円の水を買えますかと話をしている。東京都のように億単位で製造すれば、1本あたりの製造コストが下げられるが、我孫子市は100万単位でしか製造できず、保管する場所もない。この現状では、価格を120円から100円以下にするのは現実的には厳しいと考えている。

◇遠藤委員

企業債とはどういうものか。

◆柳沼経営課主任

企業債とは、いわゆる借入金のこと、地方公共団体金融機構から借入れを行っている。平成31年度から借入れ始め、財源を確保している状況となっている。

以上をもって質疑回答は終了した。なお、傍聴者はいなかったため、傍聴者の発言は行われず、審議会を終了した。

以上